

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 映像学

試験科目 1/3 科目

問題は、問1と問2からなる。それぞれについて解答しなさい。解答スペースが足りない場合は、答案用紙の裏に記述してもよい。

問1

以下の(1)～(3)のうち、2つを選んで、それぞれ15～20行の範囲で解答しなさい。例に挙げる作品や理論はどこの国・地域のもので構わない。

- (1) 映画理論におけるリアリズムとは、どのように説明できるか。2人以上の理論家または映画監督の考え方を紹介した上で自らの見解を述べなさい。
- (2) 映画の他人種や他民族表象を考える上で歴史的に重要な作品を一つ取り上げ、その作品がどのように他者性を表現し、そこにどのような問題があるかを説明しなさい。
- (3) 映画や映像メディアのジャンルは、特定の歴史的状況の中で発展してきたと言える。ジャンルと社会との関係を、具体的な作品を例に説明しなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻
分野・専門 映像学

問題種別 専門試験
試験科目 2/3 科目

問2

次の英文は、Yuriko Furuhashi, *Cinema of Actuality: Japanese Avant-Garde Filmmaking in the Season of Image Politics* (Durham: Duke University Press, 2013)からの抜粋である。これを読んで続く問いに日本語で答えなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 映像学

試験科目 3/3 科目

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

問い

- (1) 大島渚と三島由紀夫の対談は、どのような点で興味深いと著者は述べているか。わかりやすく説明しなさい。
- (2) 大島と三島はどのような認識を持っている点で同意していると著者は述べているか。わかりやすく説明しなさい。
- (3) 著者はどういう意味で「政治の季節」は「イメージ政治の季節」だと述べているか。わかりやすく説明しなさい。
- (4) 著者によれば、前衛的な映画制作者たちが共通して関心を抱いていたジャーナリスティックなアクチュアリティとはどのようなものか。わかりやすく説明しなさい。

【解答にあたっての注意】

- ◆ 専門試験は、次の2つからなる。
 - (1) 古代文化・文学 / 日本近現代文化・文学 / 表象文化に関する「文献解読」
 - (2) 古代文化・文学 / 日本近現代文化・文学 / 表象文化に関する「論述」

- ◆ 「文献解読」の間1～間3より 1つを選んで解答すること。

- ◆ 「論述」の間1～間3より 1つを選んで解答すること。

- ◆ 解答は問題ごとに別紙の答案用紙を用いること。解答スペースが足りない場合は、答案用紙の裏に記述してもよい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻
分野・専門 日本文化学

問題種別 専門試験
試験科目 日本古代文化・文学、日本近現代文化・文学、表象文化に関する文献解読

問1 (日本古代文化・文学)

次の文章は『無名草子』にある一節である。これを読んで(一)、(二)について答えなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

(一) 波線 部分について、具体的な作品を一つ挙げて説明しなさい。

(二) 傍線 部分を現代語訳しなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻
分野・専門 日本文化学

問題種別 専門試験
試験科目 日本古代文化・文学、日本近現代文化・文学、表象文化に関する文献解読

問2 (日本近現代文化・文学)

次の文章は、三島由紀夫「小説とは何か」(1972年初刊)の一部である。次の
[1][2]について答えなさい。

[1] この文章の趣旨を5行程度で要約しなさい。

[2] 以下からキーワードを一つ以上選択し、この文章を批評しなさい。首尾
一貫した論述を行うこと。

公共(性) 社会秩序(の再構成) ジェンダー 虚構 倫理

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻
分野・専門 日本文学

問題種別 専門試験
試験科目 日本古代文化・文学、日本近現代文化・文学、表象文化に関する
文献解読

問3 (表象文化)

次の二編の詩をその類似点と相違点に留意しながら評釈しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻
分野・専門 日本文化学

問題種別 専門試験
試験科目 日本古代文化・文学、日本近現代文化・文学、表象文化に関する
論述問題

問1（日本古代文化・文学）

遣唐使の文化史的意義について、自分自身の考えを自由に論じなさい。

問2（日本近現代文化・文学）

次の〔1〕〔2〕について答えなさい。

〔1〕主流文化と大衆文化・対抗文化との関係は、時代や場所や担い手によって異なり、また変化している。どのような関係として論じられるか、具体的な事例を挙げ、10行程度で述べなさい。

〔2〕次に掲げた事項についてそれぞれ知るところを述べなさい。解答する事項の記号を各々必ず記すこと。

- a. 与謝野晶子
- b. 梶井基次郎
- c. プロレタリア文学
- d. ホモソーシャリティ

問3（表象文化）

日本語の文芸作品において、関心の中心は人事にあるが、自然が描かれることも多い。ここで、人事というのは、人間の生活、友人関係、家族、社会などが作る世界であり、自然というのは人間が存在しなくてもそこにある世界を指す。文芸作品の中で両者の関係はどのようにになっているか。具体的な例を挙げて論じなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 文化動態学

試験科目 科目

問題 次の6問の中から、自分の研究計画に関連の深い2問を選んで解答しなさい。解答は下記の「解答上の注意」に基づいて書きなさい。

解答上の注意

- ① 解答は1問につき答案用紙1枚以内で書きなさい。
- ② 答案用紙には受験番号、氏名および選択した問題番号を書きなさい。
- ③ 同一の答案用紙に複数の問題の解答を書いてはいけません。また答案用紙の裏面を使ってはいけません。

問題1 民族芸術の世界性について、具体例に基づき論じなさい。

問題2 記憶の伝承は、現在もいろいろな領域でしばしば強調される課題の一つである。具体的な事例を一つ取り上げて、その意義と問題性について考察しなさい。

問題3 今日、社会の様々な分野で分業化・細分化・専門化が進んでいると言われる。学問・研究の世界において分業化・細分化・専門化が進むと、どのようなメリット・デメリットが生まれると考えられるだろうか。あなたが研究したい分野・テーマについて、例を挙げながら具体的に論じなさい。

問題4 「地域研究」(area studies)が、グローバル化の進んだ社会における諸問題の考察にどのように貢献できるか、具体例と共に論じなさい。

問題5 現代社会における移民の女性化について具体的な事例を挙げながら、その要因とそれがもたらす社会問題について説明し、自身の考えについて論じなさい。

問題6 ソフト・パワーはその国のイメージの形成にどのような影響を与えているかについて、具体例を挙げて論じなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 ジェンダー学

以下の4題の中から2題を選択し、日本語で解答しなさい。選択した問題番号は、答案用紙の所定の欄に記入すること。なお、答案用紙は1題につき1枚を使用し、足りない場合は裏面を使用してもよい。

問1 下に挙げるのは、シモーヌ・ド・ボーヴォワール『第二の性』からの引用である。この文について、「〈永遠の女性的なもの〉に与えられる定義」とはどのようなものと考えられるかまとめた上で、その定義に照らして「生身の女たちの行為」が「間違っている」とされる例を挙げ、それに対するあなたの意見を述べなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

【出典：ボーヴォワール『第二の性Ⅰ』『『第二の性』を原文で読み直す会』訳、新潮文庫、2001、p.503】

問2 こどもが読む童話やおとぎ話には、強い男の子が鬼を退治したり、貧しい女の子が王子様と結婚したりする物語が多く、ジェンダー規範や異性愛中心主義をこどもたちに教え、内面化させるとしてしばしば批判される。このような批判的な観点から、ジェンダー規範や異性愛中心主義に対抗するものとして、もしあなたがこどもたちに物語を話して聞かせるなら、どのような物語が良いと思うか。次の(1)

(2) 両方に答えなさい。ただし、解答は分けて答えること。

(1) あなたが良いと思う物語を創作しなさい。登場人物、背景、プロットなどは自由に考えてよいので、一つの作品として提示しなさい。

(2) その物語の創作意図を論じなさい。

問3 現代社会における性差的な記号として、例えば振袖*1は女性が着るもの、学ラン*2は男性が着るものといった、「女らしさ」や「男らしさ」を表すとされる固定的な記号から、髪型やアクセサリなど両性的な性格を持つ記号まで多々見られる。このように女性性、男性性を表すとされる記号の例をいくつか挙げ、現代社会における性差的な記号の持つ機能について論じなさい。

*1 振袖：未婚女性の礼装用の和服（着物）

*2 学ラン：男子学生向けの詰襟を用いた制服

問4 保育や教育、介護、医療等の現場で観察される、セクシュアリティに起因する問題の例を挙げ、それに対するあなたの見解を述べなさい。